

寄せられたご意見と市の考え方  
(下松市総合計画 後期基本計画(案)等についてのパブリックコメント)

●提出された意見合計 5件(1人)

※提出いただいたご意見は、趣旨を変えない範囲内で簡略化または文言等の調整をしているものがあります。

番号	資料名	頁	意見(要約)	市の考え方
1	後期基本計画(案)	86、87、134、135	くだまつスポーツ公園に関して、避難所や防災公園だけでなく、スポーツ公園全体は「生涯スポーツ推進拠点」あるいは、多機能複合型スポーツ施設整備事業で示された基本コンセプト「多世代が気軽に集い、それぞれのウェルビーイングを実現する生涯スポーツ推進拠点」をどこかに入れたらよいと思います。	ご意見のとおり、「生涯スポーツ推進拠点」を追加修正します。
2		110、111	教育大綱との整合性が必要ではないか。 (1) 幼保、高校・企業等 → 幼稚園・保育園、高校・地元企業等 持続可能な地域連携教育 → 児童生徒の「くだまつ愛」を醸成し、持続可能な地域連携教育 (2) 子どもの主体的な学び → 児童・生徒の主体的な学び (3) 誰もが安心・安全 → 誰もが安全・安心	(1) 幼保、高校、地元企業等に修正します。 持続可能な地域連携教育については、ご意見のとおり修正します。 (2) 児童生徒の主体的・対話的で深い学びに修正します。 (3) ご意見のとおり修正します。
3		120	タイトルを基本方針文面に合わせたほうが良いのではないか。 歴史と伝統の保護と活用 → 歴史と文化の保護と活用 (基本方針文面より)	基本方針文面をタイトルに合わせ修正します。
4		140、141	前期計画に記載されていた空き家バンク創設の動きはどうなっているか。 (2) 移住希望者の発掘と支援	空き家バンクは制度を創設すること自体が目的ではなく、地域の不動産市場の状況や物件の質、需要動向などを十分に踏まえたうえで検討すべき施策であると認識しております。他自治体の事例では、登録数に比べて成約率が低く、行政負担だけが增えるケースも見られ、制度だけでは流通促進につながらない実情があります。そのため、本市におきましては、まずは地域における空き家の状況を把握し、民間不動産事業者とも連携しながら、地域ごとの対応を検討してまいります。なお、今後の空き家の増加状況や市場環境の変化に応じて、空き家バンク制度についても引き続き研究を行ってまいります。
5		序論(案)	10	修正を要するのではないか。 ◎学校教育環境の充実 小中学校トイレ様式化(様式化率87.7%) 様式化 → 洋式化